

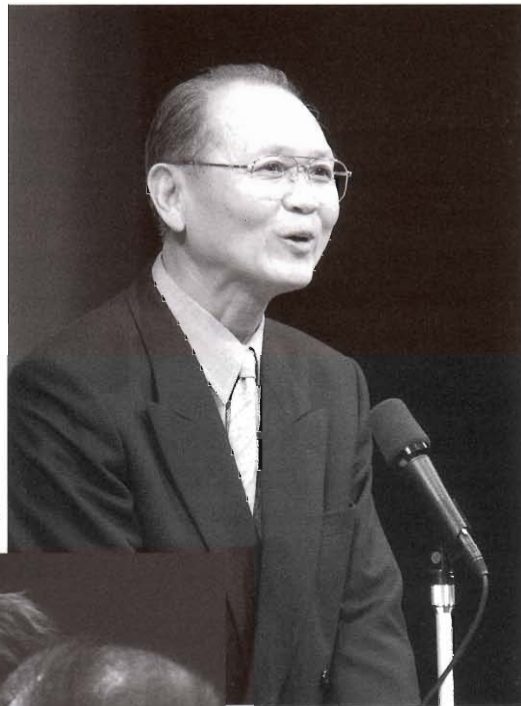
はあとふる

地域の皆さまに、心 (Heart) と技術 (Hands) でヘルスケアサービスを提供するためのコミュニケーション誌

平成18年2月25日

「第12回スポーツ選手・指導者交流会」開催

選手一人一人が輝くために医療が唱える『事故防止』
咲かせ『能力』防げ『事故』



基調講演
「バスケット王国の勝利哲学
～基本は人づくり・組織づくり～」
加藤 廣志 氏



「夢の実現に向けて
～トップアスリートの育て方～」
右から、山口 彦則 氏、井村 雅代 氏、
島田 永和 氏

「スポーツ選手・指導者交流会」は、当院スタッフが中心となり、スポーツ選手や指導者だけではなく、地域のスポーツ愛好家や様々な方と病院との接点となる機会を設けることを目的に、スポーツにおける傷害・外傷の理解を共有できる場として開催しています。

特に今回は、全国高校総体事務局のご協力を得て、世界で活躍する一流のアスリートを育て上げた3人のゲストをお招きしました。

今後さらにスポーツの現場の方々と交流を深め、その要望に応えられるような医療サービスを提供できるよう、日々努力していきたいと思えます。

第12回スポーツ選手・指導者交流会

実行委員長 富原 朋弘



島田病院、八尾はあとふる病院は「病院機能評価認定病院」です。

はあとふるグループ

医療法人(財団) 永 広 会
社会福祉法人 はあとふる



日本のスポーツ界に名を残す

「第12回スポーツ選手・指導者交流会 平成18年度全国高等学校総合体育大会記念大会」

●平成18年2月25日(土) ドーンセンター(大阪市中央区)●

「第12回スポーツ選手・指導者交流会 平成18年度全国高等学校総合体育大会記念大会」は、今年の夏に全国高等学校総合体育大会(06総体THE近畿:通称インターハイ)が大阪府を中心に開催されることから、(財)スポーツ安全協会大阪支部、(財)大阪体育協会、平成18年度全国高等学校総合体育大会準備局のご協力を得ての開催でした。

参加者約350名という今までにない規模で、島田病院をたくさんの方に知ってもらおう大チャンスです。数ヶ月前から準備に取り組み、スポーツ選手・指導者交流会事務局の一人として、ポスターやチラシといった広報物の作成や懇親会の受付業務のマニュアル作成などを担当しました。見やすいポスターの作成など広報の難しさを含め、たくさんの経験をしました。ただ、全てを一人で行ったわけではなく、キャッチコピーを考えてもらったりポスターのベースを作ってもらったり、大量に印刷してもらったり・・・さまざまなところで他のスタッフの協力を得て、準備を行うことができました。そのような周りのサポートをととても嬉しく思いました。

当日は、基調講演の講師である能代工業高等学校バスケットボール部前監督の加藤 廣志先生をはじめ、パネルディスカッションのパネラーとして、アテネオリンピックシンクロ競技において立花、武田選手らをメダルに導いた井村シンクロの井村 雅代ヘッドコーチ、バルセロナオリンピック銀メダリストの池谷選手を育てた清風高校体操競技部部長 山口 彦則先生をお迎えしました。素晴らしい実績をお持ちの方々に会うことができ、お話を聞けるということで緊張していましたが、とても楽しみでもありました。

基調講演は「バスケット王国の勝利哲学 ～基本は人づくり・組織作り～」という、バスケットボールをやっている人はもちろん、それ以外のスポーツ選手や指導者でも興味を惹かれるものでした。加藤先生はご自分の体験してこられたことを中心にお話してくださいましたので、とてもわかり



基調講演
「バスケット王国の勝利哲学
～基本は人づくり・組織づくり～」
能代工業高等学校バスケットボール部
前監督 加藤 廣志 氏

易く、一つ一つが物語の場面のように浮かんできくようにした。バスケットに対して常に一生懸命で、そのとき自分にできることは何かを考え、思いついたことは即行動に移す、そんな姿勢をととても素晴らしいと思い、全国制覇を成すことができたのも納得できました。

基調講演やパネラーの先生方に共通することは語りが

とても熱く、それぞれの競技、選手をととても大切にしているということでした。また、常に高い目標を持って実行している姿勢が印象的でした。



清風高校体操部部長 山口 彦則 氏



井村シンクロクラブ 代表 井村 雅代 氏

懇親会では交流会のメンバーに加え、bjリーグ 大阪エヴェッサの天日ヘッドコーチや、さまざまな世界で活躍されている方々が集まり、人のつながりの凄さを改めて感じました。そして私もバスケットをやっているの、憧れの加藤先生と会話を交わし、サインを頂くことまでできて本当に嬉しかったです!準備の疲れも吹き飛びました!



(自画像)

スポーツ疾患『肩・肘』を専門に

島田病院 整形外科 医長 松浦 健司

今回は、島田病院 整形外科にて多くのスポーツ疾患に取り組む松浦健司医師から話を聞きました。松浦医師は『肩・肘』を専門にしています。

「子供の頃は野球でピッチャーをしていました。その時の影響だと思んですけど大人になってから、投球ができない自分に気づきました。整形外科の中でも『肩・肘』を専門にしていますが、僕自身が投球できない肩の患者でもあるんですよ。

野球をやめたあと色々なスポーツに取り組みましたが、僕の人生に大きな影響を及ぼしたラグビーは、大学入学後から始めました。結構体格いいから強引にプロップ(スクラムの時に一番前となるポジション)にされちゃったんですよ。練習はきつかつ

名指導者が集まりました。

「等学校総合体育大会記念大会」

島田病院 リハビリテーション課 理学療法士 八坂 真妃

約50年に1度しか回ってこない大阪でのインターハイ。このような機会に恵まれたこと、トップクラスの先生方の話を生で聞けたこと、その場に自分がいられたことをとても嬉しく思います。これからもどんどん新しい方々に参加してもらえ、いろいろな出会いのできる会になればと思います。



jbリーグ大阪エヴェッサ
天日謙作ヘッドコーチとツージョット!

●参加者のご感想

【加藤先生の講演】

- 感動して涙が止まりませんでした。(会社員)
- 指導者としての考え方、行動、思いなど多くの事を指導に活かせると思います。先生の情熱が伝わり「素晴らしい!」の一言です。(企業スポーツコーチ)
- 熱い気持ちを感じ、全身がシビレ上がりました。自分の仕事にも活かせるようにしていきたいです。(会社員)

【パネルディスカッション】

- 選手に嘘をつかない。情熱と誠意を持ってコーチングすることの大切さを学びました。(教員)
- 一流選手を育てるには、技術じゃないんだと確信しました。(教員)
- いろいろな迷いをすっきりさせてくださるような明快なお話し、熱いお話しに、明日からの指導に勇気を持てました。(会社員)

たですね。何回逃げようと思ったか……。そんなつらい練習だったけど、卒業してからも医師、歯科医師で構成される『関西ドクターズラグビーフットボールクラブ』のメンバーとして定期的にラグビーしています。練習試合ばかりだけど、一番盛り上がるのは、同じチーム構成の『九州ドクターズラグビーフットボールクラブ』との対戦ですね。めちゃくちゃ盛り上がりますよ。僕の尊敬する先輩の言葉で『ラグビーは生きがい、仕事はやりがい』っていうのがあるんですけど、僕にもそのままあてはまる言葉ですね。身体が動く限りラグビーは続けるつもりですよ。あ、そうそう対戦相手募集中ってPRもしてね。

僕もスポーツが好きだし、スポーツに取り組む人たちを応援したいから整形外科医になりました。スポーツに取り組む人には、自分自身が経験した事を生かして診察をするよう心がけています。僕は『肩・肘』を専門にしていますが、この分野の治療法はまだ十分に確立していません。だからこそ、僕はこの分野を専門にして『肩・肘』で悩む患者さんのよきアドバイザーでありたいと思っています。

肩の専門性の一つを例にあげてみます。島田病院は、肩関節鏡視下手術を実施している全国的にみても数少ない病院です。鏡視下手術は直視下手術(従来の切開する手術)に比べて手術創が小さく低侵襲で、術後の疼痛が軽減されます。更に創が小さい事で、肩関節周囲筋肉の機能を低下させる可能性が少なく、スポーツの復帰が早いという利点もあります。実際、多くのプロ

スポーツ選手が肩関節鏡視下手術によって早期復帰をはたし、好成績をあげるようになる例も多くなってきているんですよ。(※詳細は島田病院ホームページをご覧ください)

他の疾患に関してもそうですが、特に僕の専門とする『肩・肘』の悩みに対しては、じっくり話し合いながら診察して、一人一人のニーズにお答えしたいと思っています。こんな感じで診察しているので、どうしても診察時間が長くなりがちです。僕の予約をとって来て下さる患者さんにはお待たせしてしまう事が多くなり、申し訳なく思っています。だから僕個人の考えですが、『肩・肘』の専門外来をやりたいなあとと思っています。そうすることによって、待ち時間対策にもなるし、医師・理学療法士の両方が同時に診察をすることが実現できれば、より良いチーム医療が提供できるようになるのではないかと考えています。』

松浦医師の診察室では、よく『お待たせしてすみませんね』っていう言葉が聞こえてきます。自身のスポーツの経験をふまえながら、患者さん一人一人のニーズにあわせた診察をするのですから、時間がかかってしまうのは仕方ないかもしれません。これは医療提供者の永遠の課題といえるかもしれません。専門外来の開設は患者さんの待ち時間対策と、より良い医療を提供できる環境整備として実現するといいですね。



開会の挨拶
医療法人永広会 理事長 島田 永和



全国高校総体準備局事業推進室長 比嘉 悟 氏(中央)を交えて



スケート競技の会場の前に立つ島田理事長

トリノ2006 冬季オリンピック観戦記

医療法人永広会 理事長 島田 永和

第20回オリンピック冬季競技大会が、イタリア北部の町トリノで開催されました。前回の2002年ソルトレイクシティでは、長野オリンピックで19歳にしてショートトラック500メートルで金メダルを取った西谷岳文選手に期待が集まりました。しかし、彼は、レースの約2カ月前、オリンピック出場選手選考の最後のレースでフェンスに激突し足首の内外両方のくるぶしを骨折します。

「間に合わない」という医師たちの意見が大勢を占める中、少しでも可能性があるならと彼を代表選手に選考したスケート連盟やオリンピック委員会、そして、多少のリスクよりも出場にかける本人とコーチの強い意思のもと、診療を担当した私たちはレースに向けての治療計画を立てました。本人と執刀医の金医師始めリハスタッフなどの努力が実り、順調に計画を進めることができました。職員を代表して、私が現地に向かい、最後の調整と応援をしました。残念ながら、入賞を逸したものの、不可能と言われた回復過程でのスポーツ医学的対応は、私たちにも良い経験となりました。

その西谷選手も27歳、無印で獲得した8年前、ケガから必死の調整をした4年前と異なり、今年は万全の準備で臨みました。私は、彼と同じ杉尾コーチ夫妻に指導を受ける阪南大学小沢美夏選手の応援も目的として現地に向かいました。

予選で敗退という残念な結果に終わりました。勝負の世界ははっきりしています。「勝つには、それだけの理由」があり、例え、0.05秒の差でも、勝敗を分けます。それは「負けるには、それだけの訳」があるということなのだと言っていました。



完全に燃焼しきれなかった西谷選手
予選レース直後に「いけると思ったときって、あきませんね」と語ってくれました

勝利に向けて、必要な手順は以下のように要約されると思います。

- 1) 着実に明確な目標をうまく設定すること、
- 2) 目標到達のための情報を収集し、分析すること、
- 3) 勝つための戦略を立案すること、
- 4) 戦略達成の具体的な戦術を明示し、
- 5) その活動の緻密な計画を立てること、
- 6) ここまでの過程を関係者に周知・徹底すること、
- 7) 決められた計画に沿って確実に実行する行動力とリーダーの指導力、
- 8) 計画途上での進行程度の評価と行動計画の微調整

これらは、スポーツの世界で勝利を勝ち取る要因というだけではありません。事業経営においても、また個人の人生においても、目的を遂げるにはこの原則が当てはまるのではないかと感じています。勝つために、特殊で即効性のある方法などないのでしょうか。当たり前のこうした原則をいかに最後まで意思を通し、やり遂げるかがもっとも大切ではないかと改めて感じた機会でした。



杉尾コーチ
オリンピックを目指す次世代選手とともに



荒川選手の金メダルによって、日本人の欲求不満は解消されましたが、次の大会に向けての戦いがすでに始まっていることを忘れてはならないと思う

読んで学ぼう

整形外科の まめ知識 14

膝前十字靱帯再建手術から スポーツ復帰まで



島田病院 整形外科 医長 富原 朋弘

膝前十字靱帯（以下ACL）は、スポーツ活動時などに損傷されることが多く、当院では膝ハムストリング筋腱である半腱様筋腱を用いた解剖学的2ルート再建術を中心にACL再建手術を行っています（図1）。術後スポーツ復帰までに、膝の筋力さえ戻ればスポーツが出来るというのではなく、いくつかのハードルを乗り越えていく必要があります。

(1) 移植腱（半腱様筋腱）と骨トンネル内の癒合

骨折が骨どうしで癒合するのと同様に、直径5,6mm前後の骨トンネル内で、移植腱（半腱様筋腱）が両端の固定による一定の緊張下に、半腱様筋腱と骨とが癒合しなければなりません。

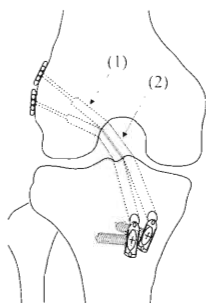


図1. 膝前十字靱帯解剖学的2ルート再建術のシエマ

(1) 移植腱（半腱様筋腱）と骨トンネル内の癒合
(2) 関節内における移植腱（半腱様筋腱）の成熟

(2) 関節内における移植腱（半腱様筋腱）の成熟（滑膜被覆）

移植腱（半腱様筋腱）が、関節内で細胞活性の高い滑膜という組織に術後被覆され成熟していきます（図2）。当院での2ルート再建術（骨トンネルが2つ）は、骨と移植腱の接触面積が大きく（図3）、元々のACLの形状に近い解剖学的な位置での設置のため、従来行われているシングルルート（骨トンネルが1つ）の再建方法に比べて、(1) 移植腱（半腱様筋腱）と骨トンネル内の癒合、(2) 関節内における移植腱（半腱様筋腱）の成熟（滑膜被覆）ともに有利です。



図2. 術後1年での膝再建靱帯の内視鏡所見

(3) 膝関節可動域

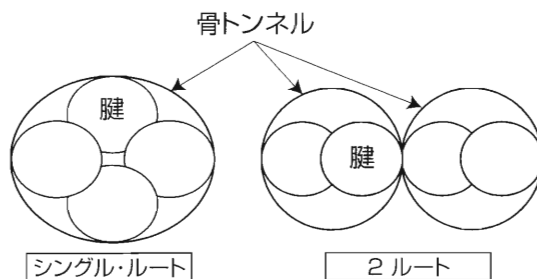
適切な時期に膝の曲げ伸ばしの角度が得られることが必要です。これは早すぎても遅すぎてもいけません。早すぎると膝は不安定になりやすく、遅すぎると膝は硬くなります。このどちらでも日常生活やスポーツ活動には支障をきたしますので、特に術後2～3ヶ月のリハビリと自己管理が非常に重要になります。

(4) 膝周囲組織の柔軟性獲得

特に女性で膝蓋骨（お皿）の周囲が硬くなる方がおられ、術後柔らかくしなければ、スポーツ活動時の違和感、痛みなどの原因となります。また、この柔軟性がなければ、膝の曲げ伸ばしや筋力の回復に悪影響を及ぼします。

(5) 膝筋力の獲得

スポーツ復帰には、少なくとも80～90%の筋力までに回復しなければなりません。また、再受傷をしないためのスポーツ競技に応じたフットワークトレーニング（体の使い方）の課題をクリアする必要があります。以上のような条件を克服するためには、術後少なくとも6ヶ月の時間が必要となります。島田病院スタッフも、スポーツへ確実に早期の復帰を目指しておりますので、術後の痛みや心配な点などございましたら、遠慮なくお尋ねになってください。



骨と腱の接触面積 ▶ 1.4倍

図3. シングル・ルートと2ルート再建術の比較

介護予防サービスが始まります

在宅介護支援センター悠々亭 リーダー 皆木 知子

本誌19号(2005年10月発行)で10月からの法改正について掲載しました。

今回は4月から新たに「介護予防」のために利用できるサービスと要介護認定区分の変更についてご紹介します。

1 介護予防とは

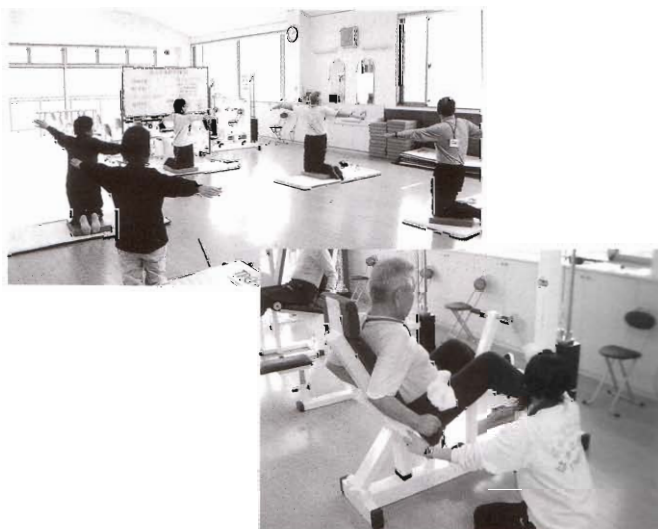
- 介護予防とは①要介護状態になることをできる限り防ぐ、②要介護状態であっても状態がそれ以上悪くならないようにすること、です。つまり、どのような状態にある方であっても自分らしい生活を維持・向上できるよう自ら積極的に取り組むことです。そしてまた、高齢者ご本人がこうなりたいなあ、こうしたいなあと思うことを実現(自己実現)できるよう支援していくことも含まれています。

2 要介護状態区分の変更

- 従来の介護保険制度では、軽度要介護者の増加やサービス提供が要介護状態の軽減につながっていないなどの問題があり、予防重視型システムへの転換が強く求められました。そこで、これまで「要介護1」と認定された方が日常の活動量が減り、閉じこもりがちになってしまう状況を予防し、現状を維持したり、改善する可能性を審査し、「要介護1」と「要支援2」に分れることになりました。
- 要支援1、2と認定された方は生活機能を維持・向上させる介護予防サービス(運動機能の向上、栄養改善、口腔(食事したり、会話したりする)機能の向上など)を通所サービスや訪問介護・看護・リハビリテーションなどで実施していきます。また、介護保険に該当されていない方でも、介護や支援が必要となる恐れのある方は、地域包括型支援センターが中心となっていく介護予防サービス(地域支援事業)が利用できます。

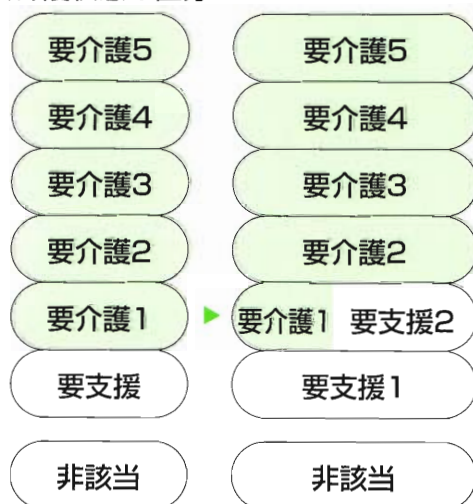
3 はあとふるグループでの介護予防の取り組み

- はあとふるグループは介護保険で実施する介護予防に取り組み、積極的に地域の方のお元気づくりを支援します。また、はびきのヴィゴラスでは羽曳野市の委託を受けて、生きがいサロンでマシンを使用した介護予防筋力トレーニング事業を実施しています。昨年度は老人クラブを対象に介護予防教室を開催したり、地域へ出向きました。そして、高齢であってもなくても、今からトレーニングをすることで元気を維持していくことができることをみなさんに体験していただきました。
- 元気な高齢者の方でも、例えばしばらく出歩かなかつたら足腰が弱ったり、生活習慣病や転居、身近な人との別れといった加齢・疾病・環境の変化・精神的な要因などをきっかけに生活機能の低下がおこる可能性があります。介護保険の基本的理念でもある、できる限り在宅で自立した日常生活を継続すること、そして自己実現のために介護予防トレーニングに取り組んでみませんか？



これまでの
要介護状態の区分

平成18年4月から



要介護1～5と認定された方は
自立した生活を支援するために、
介護保険の介護サービスが
利用できます。

ここが
変わりました

要支援1、2と認定された方は
心身の機能の維持・改善のために、
介護保険の介護予防サービスが
利用できます。

ここが
変わりました

非該当となった方は
介護や支援が必要となる恐れのある方に地域包括支援センターが
中心となっていく介護予防サービス
(地域支援事業)が利用できます。

Topics トピックス

島田病院3床増床しました。八尾はあとふる病院10床増床します。

昨年、島田病院、八尾はあとふる病院では、大阪府保健医療計画の各地域医療圏での不足病床を補うための募集を受けて事業計画を提出しました。リハビリテーションなどの取り組みを評価され、島田病院は一般病床3床、八尾はあとふる病院は療養病床10床の増床許可がおりました。

それを受けて島田病院は平成18年3月1日より、今までの一般病床40床から43床の病院になりました。

八尾はあとふる病院はこれから改修工事を行います。平成18年度中に10床増床し、計119床の病院になります。また昨年度より、中河内圏域地域リハビリテーション地域支援センターの指定を受けており、圏域内の急性期病院から回復期及び維持期のリハビリテーションが連続して提供できるよう連携を深めています。

島田病院・八尾はあとふる病院はこれからも、南河内圏域・中河内圏域の方々に良質のリハビリテーションを提供できるよう努力を重ねてまいります。

「病院の実力。2006」

(読売ウイークリー 臨時増刊 2006.2.8)

島田病院ランクイン

「病院の実力。2006」は有力病院のランキングというより、疾患ごとの手術件数などを基に、数字から病院の特徴がわかるような一覧になっており、島田病院はスポーツ整形外科：靱帯断裂手術66件で大阪府5位にランクインし、掲載されました。

(2004年実績)



島田病院は、 日本リハビリテーション医学会 認定研修施設になりました。

島田病院は、日本リハビリテーション医学会の認定臨床医や専門医をめざす医師が研修を行うことができる施設になりました。リハビリテーション科専門医でもある島田永和院長を指導責任者として、臨床研修カリキュラムに基づき研修を実施していきます。

—八尾はあとふる病院も認定研修施設です—

Infection Control Nurseの部屋

(感染管理認定看護師)

上手に手を洗って、みんな元気に!

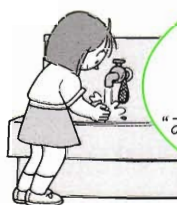
法人事務局 感染・安全管理担当
感染管理認定看護師 森下 幸子

感染症には様々な病気がありますが、子供から大人までとっても重要なのが手を洗うことです。小さいお子さんをお持ちのお母さん方ならご存じかと思いますが、子供たちは保育所や学校で手を洗うことを学んでいます。えっ、ほんとに?むしろ大人の方が問題かも知れません。またアメリカのある調査によると女性より男性の方が手を洗う回数が少ないとか...

さて、手を洗うためには手を洗う場所の整備が必要です。病院であれば、医師や看護師が汚れた手で患者さまの治療にあたることのないように、ペーパータオルや石鹸をトイレはもちろん、外来やナースステーションなどにセットしています。皆さまのご自宅ではいかがでしょうか?もしも、ご家族の中で風邪や下痢、吐くなどの症状があった時は、いつもよりも頻回に手ふきタオルの交換をおすすめします。また、目が赤いなど“ものもらい”のような症状があるご家族には、別のタオルを使うように準備しましょう。最後に、上手な手の洗い方をご紹介します。



出典:日本看護協会 感染管理に関するガイドブック改訂版



●●●●●ひとりごと●●●●●

手を洗う石鹸も
いろんな種類がありますよね～。
私は小学校の時に水道の蛇口に吊っていた
“みかんの網に入っていたレモン型の固形石鹸”
が今でも忘れられません。

はあとto ハート

インフォメーション

<使 命>

良質のヘルスケアサービスを
効率よく地域の方々に
提供し続けます

<職員憲章>

私たちは、その人が
その人らしく自分の人生を全うすることを
心 (Heart) と技術 (Hands) で支援します

はあとふるグループは、個人の価値観を尊重し、
その人の「自立」や「その人らしく生きること」を支援する
ヘルスケアサービスを提供します。

島田病院 外来受付時間変更のお知らせ

平成18年4月1日より、診療受付時間が変わりました。

<午前診療>

- ・受付終了時間は11時30分です。(従来より30分早くなりました)
- ・受付開始、及び診療開始時間の変更はありません。

<整形外科の午後診療>

- ・受付開始時間は14時30分(診療開始 15時)です。(従来より1時間早くなりました)
- ・受付終了時間は17時です。(従来より2時間早くなりました)

【受付・診察時間】4月1日より

整形外科

受付時間	診察時間	月	火	水	木	金	土	日
8:30~11:30	9:00~11:30	○	○	○	○	○	○	△
14:30~17:00	15:00~17:00	○	○	○	△	○	○*	△

*土曜日午後は今までと変わりません。
(受付13:00~15:30)

完全予約再診については、
午前診療13時終了、午後診療(木・土曜以外)19時終了
の体制をとっております。

内 科

受付時間	診察時間	月	火	水	木	金	土	日
8:30~11:30	9:00~11:30	○	○	○	○	○	○	△

神経内科

受付時間	診察時間	月	火	水	木	金	土	日
8:30~11:30	9:00~11:30	△	△	△	△	○	△	△

ペインクリニック(予約制)

受付時間	診察時間	月	火	水	木	金	土	日
8:30~11:30	9:00~11:30	○	△	○	△	△	△	△
13:30~15:30	14:00~15:30	△	△	△	○	△	△	△

悠々亭 交流会

会場/老人保健施設悠々亭
6階会議室

☎0729-53-1003

5月27日(土)
13:30~15:30

なごみの会「介護予防サービスってなあに?」

7月22日(土)
13:30~15:30

ボランティア交流会「ボランティア活動報告会」



はあとふるグループ

●医療法人(財団)永広会

島田病院 Tel.0729-53-1001
Eudynamics はびきのヴィグラス Tel.0729-53-1007
介護老人保健施設 悠々亭 Tel.0729-53-1002
在宅介護支援センター 悠々亭 Tel.0729-53-1003
介護サービスセンター ゆうゆう亭 Tel.0729-53-5514
〒583-0875 大阪府羽曳野市榎山100-1

ヘルパーステーション 悠々亭 Tel.0729-53-1062
訪問看護ステーション ハートパークはびきの Tel.0729-53-1004
〒583-0883 大阪府羽曳野市向野3-96-7

八尾はあとふる病院 Tel.0729-99-0725
介護サービスセンター はあとふる Tel.0729-99-8126
〒581-0818 大阪府八尾市美園町2-18-1

●社会福祉法人 はあとふる

高齢者生活福祉センター ゆうゆうハウス Tel.0729-31-1616
〒583-0875 大阪府羽曳野市榎山96-10